令和6年度

学校評価の結果と考察

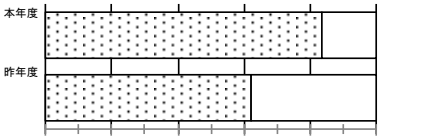
生駒市立俵口小学校

Ⅰ 学校自己評価の結果と考察

学校評価集計：経年比較(職員)　「考えをみがく」に関するもの

指標1	昨年度	本年度
はい	62.1	83.3
ややはい	37.9	16.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

分かりやすい授業づくりのために、教科横断的な視点を踏まえた指導の工夫を行っている。

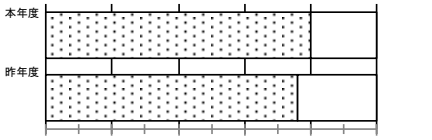


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
87.4	94.5

指標2	昨年度	本年度
はい	75.9	80.0
ややはい	24.1	20.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

分かりやすい授業づくりのために、根拠や実態を踏まえた指導の工夫を行っている。

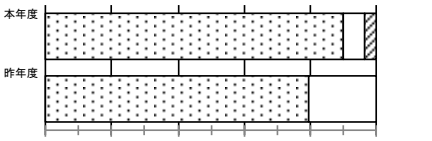


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
92.0	93.3

指標3	昨年度	本年度
はい	79.3	90.0
ややはい	20.7	6.7
ややいいえ	0.0	3.3
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

分かりやすい授業づくりや基礎的・基本的な内容の定着、学習評価について学年等で話し合ったり、児童の様子や指導のノウハウの共有をしたりしている。

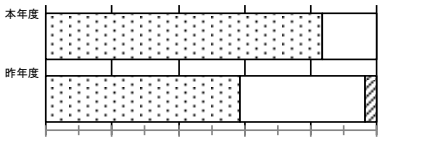


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
93.1	95.6

指標4	昨年度	本年度
はい	58.6	83.3
ややはい	37.9	16.7
ややいいえ	3.4	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

教育活動におけるICT活用やデジタルシティズンシップの育成に努めている。

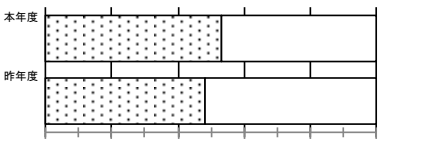


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
85.1	94.5

指標5	昨年度	本年度
はい	48.3	53.3
ややはい	51.7	46.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

外国語や異文化に関心をもち、これらに親しもうとする態度の育成に努めている。

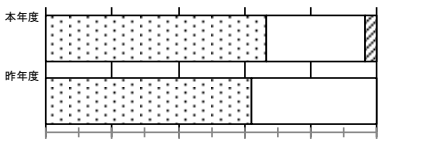


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
82.8	84.5

指標6	昨年度	本年度
はい	62.1	66.7
ややはい	37.9	30.0
ややいいえ	0.0	3.3
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

発言の際のルールなど、学習規律の確立を意識している。

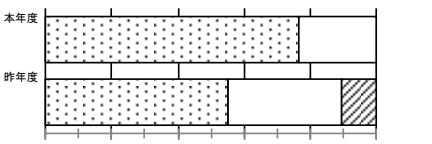


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
87.4	87.8

指標7	昨年度	本年度
はい	55.2	76.7
ややはい	34.5	23.3
ややいいえ	10.3	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

地域の人材や環境を生かした教育活動を進め、児童の地域に対する愛着や、相手への感謝の気持ちの育成に努めている。

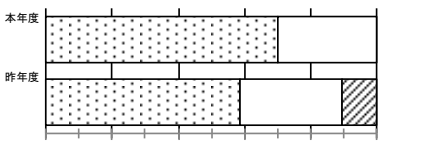


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
81.6	92.2

指標8	昨年度	本年度
はい	58.6	70.0
ややはい	31.0	30.0
ややいいえ	10.3	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

読書活動の充実を図り、読書習慣を育む取組を進めている。



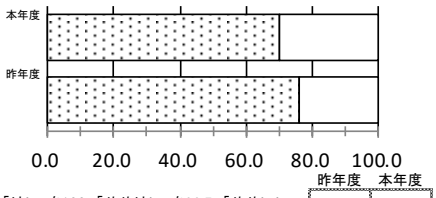
「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
82.8	90.0

学校評価集計：経年比較(職員)　「考えをみがく」に関するもの

指標9	昨年度	本年度
はい	75.9	70.0
ややはい	24.1	30.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

安心安全な教育環境の整備充実に努めている。

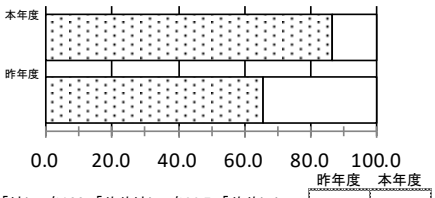


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
92.0	90.0

指標10	昨年度	本年度
はい	65.5	86.7
ややはい	34.5	13.3
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が質問したり、互いに意見を交流し合ったり、学習の振り返りをしたりするなどして考えを深める場を設け、その充実に努めている。

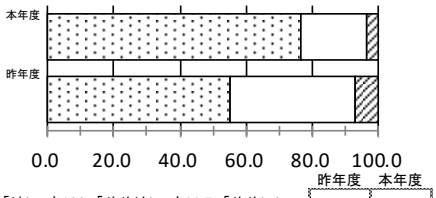


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
88.5	95.6

指標11	昨年度	本年度
はい	55.2	76.7
ややはい	37.9	20.0
ややいいえ	6.9	3.3
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が学習問題を発見したり、その解決に向けて計画を立てたりする場を設け、その充実に努めている。

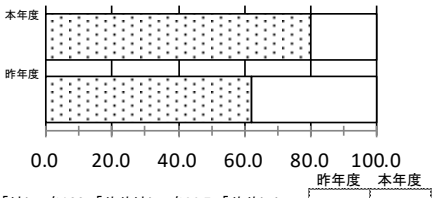


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
82.8	91.1

指標12	昨年度	本年度
はい	62.1	80.0
ややはい	37.9	20.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

調べたり体験したりするなどの取組を通じて、児童の思考力や判断力の育成に努めている。

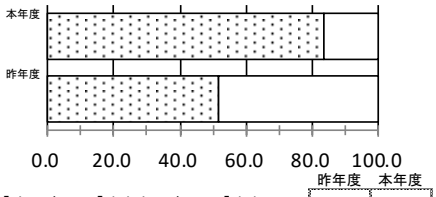


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
87.4	93.3

指標13	昨年度	本年度
はい	51.7	83.3
ややはい	48.3	16.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

学習したこと、練習したこと、調べたこと、考えたことなどを、児童が他者に向けて表現したり発表したりする場を設け、その充実に努めている。



「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
83.9	94.5

本校職員を評価者とする学校自己評価を、以下の期間に実施しました。

中間自己評価

令和6年9月17日(火)～9月26日(木)

最終自己評価

令和6年11月26日(火)～12月5日(木)

ここには、最終自己評価の結果を、昨年度のものとともに掲載しています。

考察

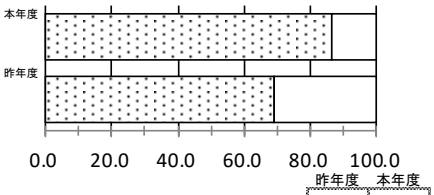
「考えをみがく」の項目に関する最終評価では、指標3(授業づくりに関する話し合いやノウハウの共有)、指標6(学習規律の確立)、指標11(問いを立てたり計画したりする学習の充実)を除く各指標で、「はい」「ややはい」の回答が全てとなりました。また、昨年度の回答結果との比較では、指標9(安全安心な教育環境)以外の指標における「はい」の回答割合が総じて上昇しています。教職員が、授業や職務に対する良い意味での自信をもち、互いを信頼しつつ学校運営がなされているものと判断します。

学習規律の確立に関して問う指標、授業づくりに関する話し合いや、問いを立てたり計画したりする学習の充実について問う指標では、「ややいいえ」の回答がわずかにみられました。学習規律の確立に関しては、受容的な学級の雰囲気を大切にしつつも、けじめとメリハリのある学習の構築に努めます。授業づくりに関する話し合いやノウハウの共有の点では、本年度は県指導主事を招へいしての校内研究授業の他に、各学年が授業公開を行ったり、自主研修やチャットによる意見交流の場を設けたりするなどの取組を進めてきたところです。今後も建設的で柔軟な学校風土を大切にし、多様な声が行き交う学校運営に努めていきたいと考えます。

学校評価集計：経年比較(職員)　「心をみがく」に関するもの

指標14	昨年度	本年度
はい	69.0	86.7
ややはい	31.0	13.3
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が楽しく主体的に学校生活を送れるよう、活動や場の充実に努めている。

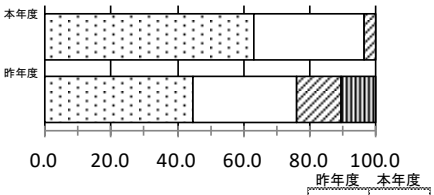


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
89.7	95.6

指標15	昨年度	本年度
はい	44.8	63.3
ややはい	31.0	33.3
ややいいえ	13.8	3.3
いいえ	10.3	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

幼稚園・保育園・こども園との接続を意識した新入学時の指導の工夫や、中学校との連携を意識した卒業時の情報共有を行っている。

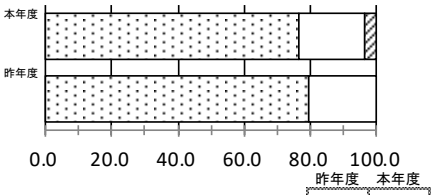


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
70.1	86.7

指標16	昨年度	本年度
はい	79.3	76.7
ややはい	20.7	20.0
ややいいえ	0.0	3.3
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

お互いが安心安全で気持ちよく過ごせるよう、ルールやマナーを守ることについての指導を継続的に行っている。

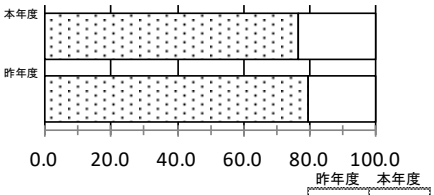


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
93.1	91.1

指標17	昨年度	本年度
はい	79.3	76.7
ややはい	20.7	23.3
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童の日常生活と関連付けながら、道徳性や規範意識の向上に向けた取組を継続的に行っている。

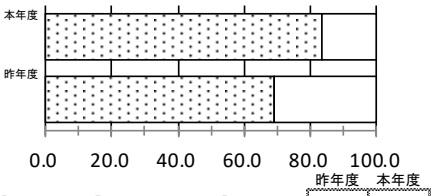


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
93.1	92.2

指標18	昨年度	本年度
はい	69.0	83.3
ややはい	31.0	16.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

悩みや困ったことなどを、児童が相談しやすい雰囲気の醸成に努めている。

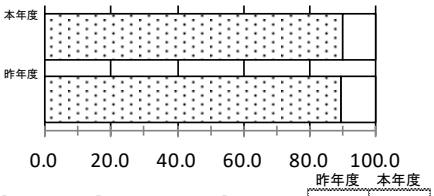


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
89.7	94.5

指標19	昨年度	本年度
はい	89.7	90.0
ややはい	10.3	10.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童に関する情報について、一部で抱え込むことなくその共有を迅速的確に行い、問題の早期発見、早期解決につなげている。

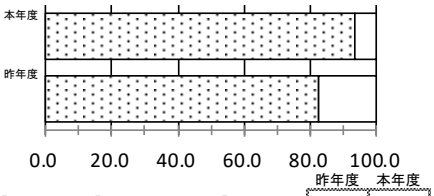


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
96.6	96.7

指標20	昨年度	本年度
はい	82.8	93.3
ややはい	17.2	6.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

いじめや問題行動などに対し、迅速かつ組織的に対応している。

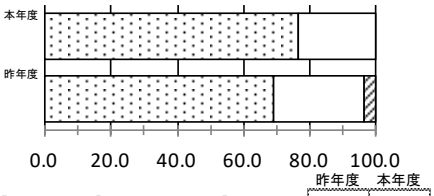


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
94.3	97.8

指標21	昨年度	本年度
はい	69.0	76.7
ややはい	27.6	23.3
ややいいえ	3.4	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

欠席や早退など問題があったときには保護者と適切に連携して対応している。



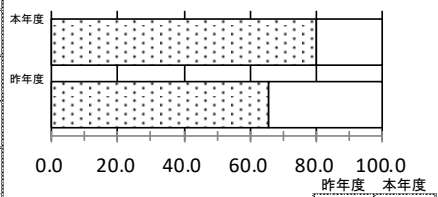
「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
88.5	92.2

学校評価集計：経年比較(職員)　「心をみがく」に関するもの

指標22	昨年度	本年度
はい	65.5	80.0
ややはい	34.5	20.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が自他のよさや成長を発見したり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。

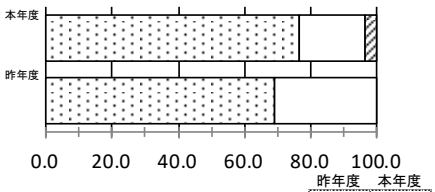


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
88.5	93.3

指標23	昨年度	本年度
はい	69.0	76.7
ややはい	31.0	20.0
ややいいえ	0.0	3.3
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童の実態や教育的ニーズに合った支援を職員全体で共通理解し、支援を進めている。

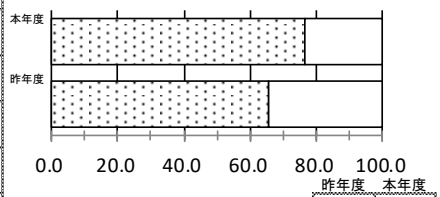


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
89.7	91.1

指標24	昨年度	本年度
はい	65.5	76.7
ややはい	34.5	23.3
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が一人一人の違いについて考えたり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。



「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
88.5	92.2

考察

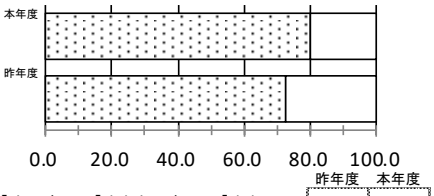
「心をみがく」の項目に関する最終評価では、指標15(学校間連携)、指標16(ルールやマナー順守のための取組)、指標23(特別支援の体制)を除く各指標で、「はい」「ややはい」の回答が全てとなりました。また、昨年度の回答結果との比較では、指標16(ルールやマナー順守のための取組)、指標17(道徳性や規範意識向上のための取組)以外の指標における「はい」の回答割合が総じて上昇しています。児童が楽しく主体的に学校生活を送ろうとする学校全体の空気感や、受容的で支持的な雰囲気が良好に維持され、適切な学校運営が行われているものと判断します。

学校間連携に関しては、「ややいいえ」の回答がわずかにみられるものの、昨年度に比べ、肯定的な回答割合が大きく向上しています。とりわけ隣接する俵口幼稚園との交流が効果的に重ねられてきたことの反映ととらえています。今後も良好な関係性を維持していきたいと考えます。ルールやマナーの順守、道徳性や規範意識向上のための取組については、児童の日々の状況に関する情報共有を迅速に行い、必要な情報が必要なところに届く体制を維持向上させることで、時宜を得た的確な指導を重ねていけるよう努めたいと考えます。

学校評価集計：経年比較(職員)　「仲間とみがく」に関するもの

指標25	昨年度	本年度
はい	72.4	80.0
ややはい	27.6	20.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が互いの思いや考えを表現し合ったり伝え合ったりしやすい雰囲気の醸成に努めている。

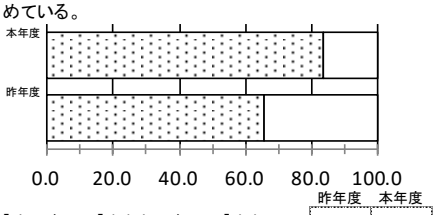


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
90.8	93.3

指標26	昨年度	本年度
はい	65.5	83.3
ややはい	34.5	16.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

班や学級、同学年、異学年など様々な集団で、物事の進め方や問題解決の方法を話し合ったり、話し合ったことをもとに一緒に活動したりする場を設け、その充実に努めている。

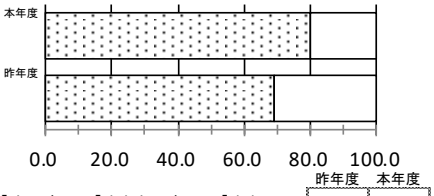


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
88.5	94.5

指標27	昨年度	本年度
はい	69.0	80.0
ややはい	31.0	20.0
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

班や学級、同学年、異学年など様々な集団での活動において、児童が自己有用感や達成感を得ることができるよう指導の工夫を行っている。

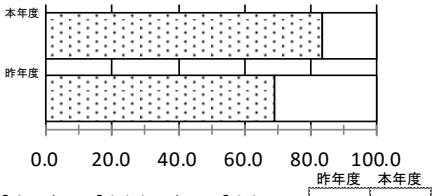


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
89.7	93.3

指標28	昨年度	本年度
はい	69.0	83.3
ややはい	31.0	16.7
ややいいえ	0.0	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が楽しく体を動かしたり運動したりすることができるよう指導の工夫を行っている。

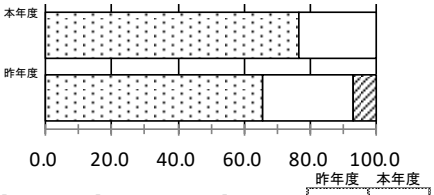


「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
89.7	94.5

指標29	昨年度	本年度
はい	65.5	76.7
ややはい	27.6	23.3
ややいいえ	6.9	0.0
いいえ	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

児童が、体育学習のみならず、たてわり活動や学級遊びなど様々な場面で体力・運動能力向上につながる活動に取り組めるよう指導の工夫を行っている。



「はい」を100、「ややはい」を66.7、「ややいいえ」を33.3、「いいえ」を0とする値の平均

昨年度	本年度
86.2	92.2

考察

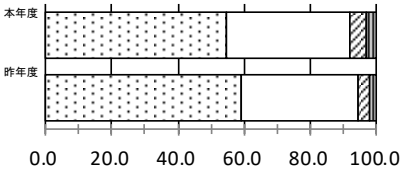
「仲間とみがく」の項目に関する最終評価では、どの指標でも、「はい」「ややはい」の回答が全てとなりました。また、昨年度の回答結果との比較では、「はい」の回答割合が総じて上昇しています。とりわけ、指標26(多様な集団で話し合ったり活動したりする場の充実)、指標27(多様な集団で自己有用感や達成感を得るための指導の工夫)、指標28(体力運動能力向上につながる指導の工夫)、指標29(体育学習以外の場面における体力運動能力向上につながる指導の工夫)のそれぞれにおいては、10%以上の顕著な上昇がみられました。運動会、音楽会、全校集会などの学校行事や、長なわ大会など体育的活動の機会を、児童の意欲をくみつつより充実させていこうとの機運が、回答傾向に反映されているものと判断します。今後もこうした良好な学校風土の維持醸成に努めたいと考えます。

2―1　児童用教育活動アンケートの結果と考察

学校評価集計：経年比較(全校)　「考えをみがく」に関するもの

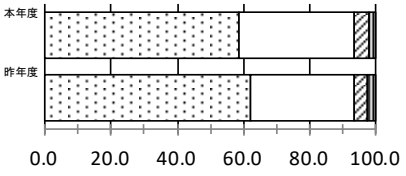
指標1	昨年度	本年度
はい	59.1	54.5
ややはい	35.4	37.3
ややいいえ	3.7	4.9
いいえ	1.8	3.3
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

授業に進んで参加し、学習した内容が分かる。



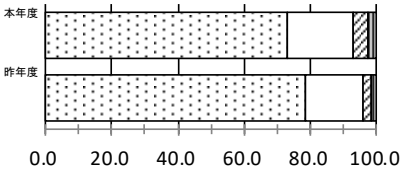
指標2	昨年度	本年度
はい	62.2	58.6
ややはい	31.2	34.8
ややいいえ	4.2	4.4
いいえ	2.4	2.2
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

発表のしかたなどのルールを守って学習している。



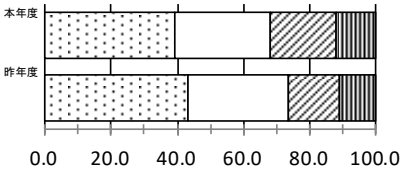
指標3	昨年度	本年度
はい	78.7	72.9
ややはい	17.1	20.3
ややいいえ	2.6	4.4
いいえ	1.6	2.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

登下校のときや図書室に行ったときなど、地域の方に学校生活や学習を支えてもらっていることはうれしい。



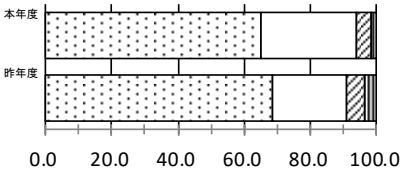
指標4	昨年度	本年度
はい	43.3	39.5
ややはい	30.2	28.5
ややいいえ	15.5	20.3
いいえ	11.0	11.8
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

進んで本を読んでいる。



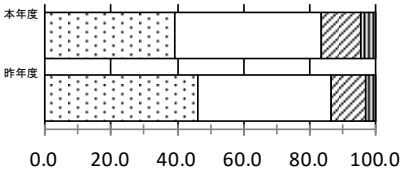
指標5	昨年度	本年度
はい	68.5	65.2
ややはい	22.6	28.8
ややいいえ	5.5	4.4
いいえ	3.4	1.6
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

学校では安心して安全に学習することができる。



指標6	昨年度	本年度
はい	46.2	39.5
ややはい	40.4	43.8
ややいいえ	10.5	12.1
いいえ	2.9	4.7
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

学習や毎日の生活では、やり方や思ったことなどを自分で考えるようにしている。



本校児童を回答者とする教育活動アンケートを、以下の期間に実施しました。
令和6年11月26日(火)～12月5日(木)
ここには、その結果を昨年度のものとともに掲載しています。

考察

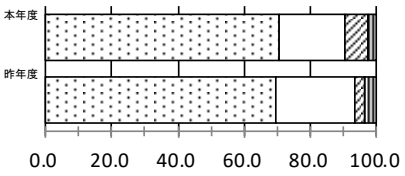
「考えをみがく」の項目に関するものでは、全体的に「はい」の回答割合が微減しているものの、概ね昨年度と変化のない回答傾向となりました。また、指標1(授業参加と学習内容理解)、指標2(学習規律の維持)、指標3(地域の方々とのふれあいやつながり)、指標5(安心安全確保)では、肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が90%を超える値となりました。それぞれの事柄について、多くの児童が良い実感を抱いていることが読み取れます。一方で「ややいいえ」「いいえ」と回答している児童が一定の割合でいることを看過することなく、どの児童も安心して生き生きと学ぶことができるような学校づくりを今後も推進していきたいと考えます。

指標4(読書に関するもの)、指標6(考える力に関するもの)では、「ややいいえ」「いいえ」と回答した児童の割合が、他の指標に比べて高くなりました。読むことについては、読書週間のイベント、図書ボランティアの方による読み聞かせなど、また、考える力については、自由進度学習や学びの振り返りの活用など、様々な取組や試行を重ねているところです。今後も引き続き、根気強く指導にあたっていく必要があると考えます。

学校評価集計：経年比較(全校)　「心をみがく」に関するもの

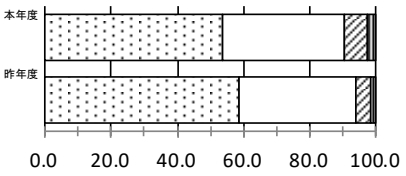
指標7	昨年度	本年度
はい	69.6	70.7
ややはい	23.9	20.0
ややいいえ	3.1	6.8
いいえ	3.4	2.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

学校で楽しく過ごしている。



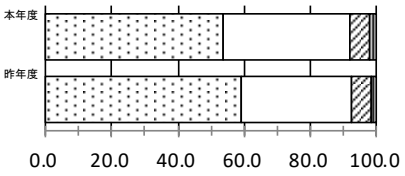
指標8	昨年度	本年度
はい	58.8	53.4
ややはい	35.2	37.3
ややいいえ	4.7	6.6
いいえ	1.3	2.7
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

自分も友だちも気持ちよくすごせるよう、学校のきまりを守っている。



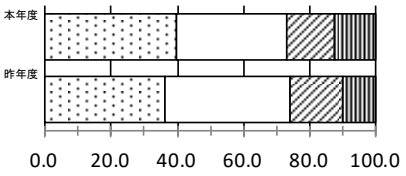
指標9	昨年度	本年度
はい	59.3	53.4
ややはい	33.1	38.4
ややいいえ	6.0	6.0
いいえ	1.6	2.2
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

してよいことや、してはいけないことを考えて過ごしている。



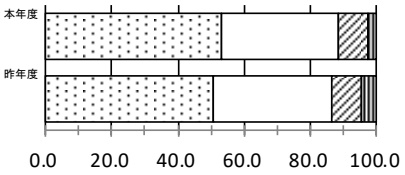
指標10	昨年度	本年度
はい	36.5	39.7
ややはい	37.5	33.2
ややいいえ	15.7	14.8
いいえ	10.2	12.3
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

悩みや困ったことがあったときは、先生たちに話したり相談したりすることができる。



指標11	昨年度	本年度
はい	50.9	53.2
ややはい	35.4	35.3
ややいいえ	9.2	9.0
いいえ	4.5	2.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれる。



考察

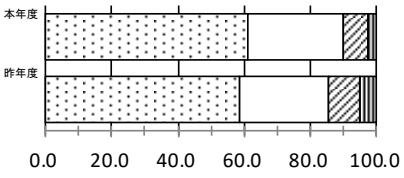
「心をみがく」の項目に関するものでは、指標7(学校で楽しく過ごしている)、指標10(悩み等を相談できる)、指標11(自分のことを分かってくれる)において「はい」の回答割合が昨年度よりも微増、指標8(きまりを守る)、指標9(善悪を考えて過ごす)において「はい」の回答割合が昨年度よりも微減する回答結果となりました。また、指標7(学校で楽しく過ごしている)、指標8(きまりを守る)、指標9(善悪を考えて過ごす)では、肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が90%を超える値となりました。一定の秩序を保ちつつ、児童が楽しく学校生活を送っている様子や、周囲に受け止められているとの実感を得ながら日々を過ごしていることなどが読み取れます。あたたかな雰囲気の学校づくりを今後も推進していきたいと考えます。

一方、指標10(悩み等を相談できる)、指標11(自分のことを分かってくれる)では、「ややいいえ」「いいえ」と回答した児童の割合が、他の指標に比べて高くなりました。学級担任だけでなく多くの教員がかかわることで児童が SOS を出しやすいようにする、活動のポジティブなフィードバックを通じて児童が自己肯定感を高められるようにするなどのはたらきかけを、引き続きていねいに行っていく必要があると考えます。

学校評価集計：経年比較(全校)　「仲間とみがく」に関するもの

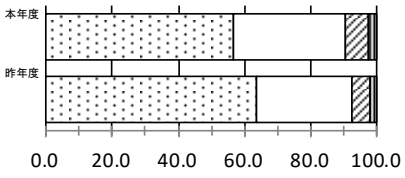
指標12	昨年度	本年度
はい	58.8	61.1
ややはい	26.8	29.0
ややいいえ	9.2	7.1
いいえ	5.2	2.7
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合いや活動に進んで参加している。



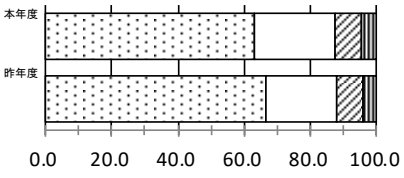
指標13	昨年度	本年度
はい	63.8	56.7
ややはい	28.6	34.0
ややいいえ	5.5	6.8
いいえ	2.1	2.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

係や当番の活動、クラブ活動(4・5・6年生)、委員会活動(5・6年生)などを通して、みんなのためにがんばっている。



指標14	昨年度	本年度
はい	66.4	63.3
ややはい	21.8	24.1
ややいいえ	7.9	7.9
いいえ	3.9	4.7
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

体育の時間やふれあいタイム、休み時間などには、楽しく体を動かしている。



考察

「仲間とみがく」の項目に関するものでは、指標12(多様な集団での活動への参加)において「はい」の回答割合が昨年度よりも微増、指標13(みんなのためにがんばっている)、指標14(楽しく体を動かしている)において「はい」の回答割合が昨年度よりも微減する回答結果となりました。また、指標12(多様な集団での活動への参加)、指標13(みんなのためにがんばっている)では、肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が90%を超える値となりました。多くの児童が、自分のクラスだけでなく、異年齢たてわりグループやクラブ活動、委員会活動など、様々な場面でのびのびと活動に取り組んでいることが読み取れます。主体的に考えることを支援したり、新たなチャレンジを積極的に認めたりすることで、今後も児童の意欲と活動の質とを維持向上させていきたいと考えます。

一方、各指標において、「ややいいえ」「いいえ」と回答した児童の割合の和は、9.3%から12.6%の値を示しました。多様な集団で過ごすことや体を動かすことに対し、苦手意識や困り感を抱く児童が一定の割合でいることにも配慮しつつ、よりよい活動の在り方を今後もさぐっていく必要があると考えます。

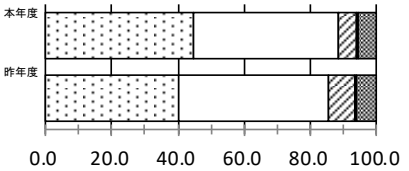
教育活動アンケートには、各評価指標に加え、学校生活全般に関する自由記述欄を設けました。回答者保護の観点から個々の記述の公表は控えますが、その内容を職員で共有し、よりよい学校づくりに役立てていることを、併せてご報告いたします。

2―2 保護者用教育活動アンケートの結果と考察

学校評価集計：経年比較(全校)　「考えをみがく」に関するもの

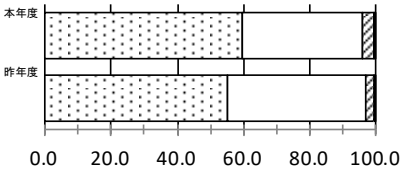
指標1	昨年度	本年度
はい	40.1	44.5
ややはい	45.3	43.8
ややいいえ	8.2	5.9
いいえ	0.4	0.4
わからない	6.0	5.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

1:学校は、子どもたちや保護者の願いに応えた教育活動を行っていますか。



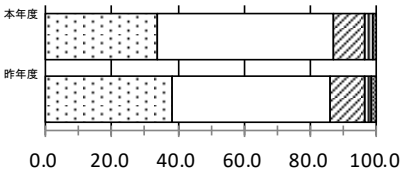
指標2	昨年度	本年度
はい	55.1	59.8
ややはい	41.9	36.3
ややいいえ	2.2	3.1
いいえ	0.0	0.8
わからない	0.7	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

2:学校は、たよりなどで教育活動を分かりやすく伝えていますか。



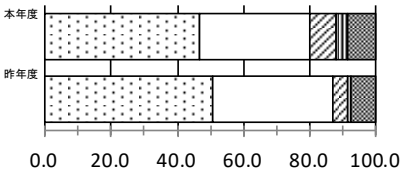
指標3	昨年度	本年度
はい	38.2	34.0
ややはい	47.6	53.1
ややいいえ	10.5	9.4
いいえ	2.2	2.3
わからない	1.5	1.2
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

3:お子様は、学校で学習した事柄をおおむね理解できていますか。



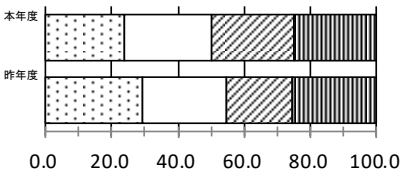
指標4	昨年度	本年度
はい	50.6	46.9
ややはい	36.3	33.2
ややいいえ	4.5	7.8
いいえ	1.1	3.5
わからない	7.5	8.6
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

4:学校は、登下校の見守りや図書ボランティアなど、地域の人材や環境を生かした教育活動を行っていますか。



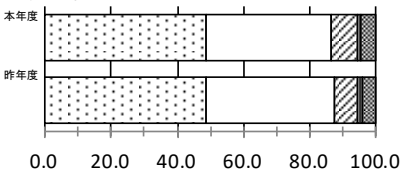
指標5	昨年度	本年度
はい	29.2	23.8
ややはい	25.5	26.6
ややいいえ	19.9	24.6
いいえ	25.5	25.0
わからない	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

5:お子様は、ご家庭で読書をしていますか。



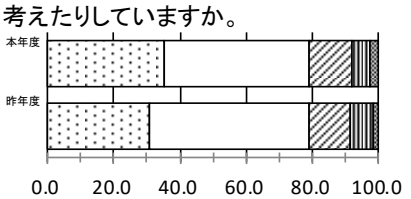
指標6	昨年度	本年度
はい	48.7	48.8
ややはい	38.6	37.9
ややいいえ	7.1	7.8
いいえ	1.5	1.2
わからない	4.1	4.3
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

6:学校の環境は、お子様が安心して安全に学習活動に取り組めるよう保たれていますか。



指標7	昨年度	本年度
はい	30.7	35.2
ややはい	48.3	43.8
ややいいえ	12.4	13.3
いいえ	7.1	5.5
わからない	1.5	2.3
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

7:お子様は、学習したことについて話したり、学習したことをもとに自分でやり方を考えたりしていますか。



本校保護者の皆様を回答者とする教育活動アンケートを、以下の期間に実施しました。
令和6年11月26日(火)～12月5日(木)
ここには、その結果を昨年度のものとともに掲載しています。

考察

「考えをみがく」の項目に関するものでは、指標2(教育活動の伝達)における肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が96.1%と最も高く、指標5(家庭における読書)が50.4%と最も低い値を示しました。それ以外の指標については、肯定的な回答割合が79.0%から88.3%の範囲となりました。加えて、指標1(願いに応えた教育活動)、指標2(教育活動の伝達)、指標7(学びへの関心や主体性)では、「はい」の回答割合が昨年度より

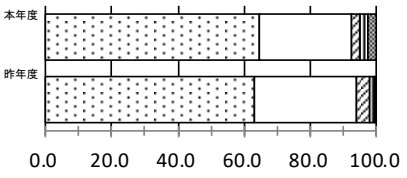
わずかに上昇しています。これらの回答結果は、本校教育活動が全体的には概ね順調に行われていること、教育活動の状況が一定程度保護者の皆様と共有できていることの反映であると判断します。

指標4(地域人材や環境を活用した教育活動)、指標5(家庭における読書)では、「ややいいえ」「いいえ」の回答割合が、他の指標に比べて高くなりました。地域人材や環境を活用した教育活動については、放課後子ども教室や俵小フェスタなどに加え、本年度は、安全や防災をテーマに地域の方々と教員とで意見交流を行う、授業の中で、校区で野菜づくりをされている方から、市の遊休地活用事業や地産地消についてのお話を聞く機会を設けるなどの取組を進めてきたところです。読書への関心を高めることについては、この資料の11ページにもお示しした読書週間のイベント、図書ボランティアの方による読み聞かせに加え、図書委員会児童によるおすすめ本の紹介、図書室だよりの発行、長期休業中の保護者貸出等、時間の許す限り様々な活動を充実させてきました。ご家庭でも機会をとらえて、読むことへの児童の関心が高まるようなはたらきかけを行っていただければと考えます。

学校評価集計：経年比較(全校)　「心をみがく」に関するもの

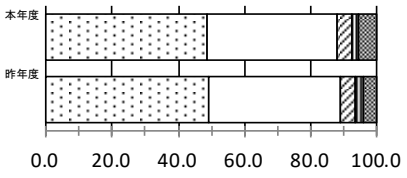
指標8	昨年度	本年度
はい	63.3	64.8
ややはい	30.7	27.7
ややいいえ	3.7	2.3
いいえ	1.5	2.3
わからない	0.7	2.7
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

8:お子様は、学校生活を楽しんでいますか。



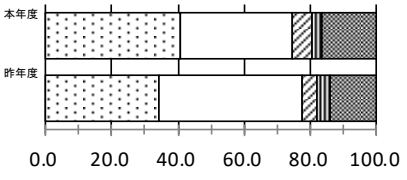
指標9	昨年度	本年度
はい	49.4	48.8
ややはい	39.7	39.1
ややいいえ	4.1	4.7
いいえ	2.6	2.0
わからない	4.1	5.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

9:学校は、ご家庭と連携しながら、お子様の成長を支援したり、問題解決に向けて対応したりしていますか。



指標10	昨年度	本年度
はい	34.5	40.6
ややはい	43.1	34.0
ややいいえ	4.5	5.9
いいえ	4.1	3.1
わからない	13.9	16.4
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

10:お子様は、先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれると言っていますか。



考察

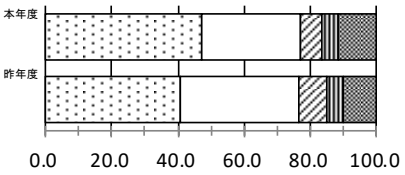
「心をみがく」の項目に関するものでは、指標8(学校生活を楽しんでいる)における肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が92.5%となりました。多くのご家庭で、児童の学校生活全般が順調に行われているととらえていただけているものと判断します。一方で、4.6%にあたる児童が、学校生活を楽しくないと感じていることをしっかりと受け止めるとともに、そうした児童にとっての望ましい教育活動の在り方を今後もさぐっていく必要があると考えます。

それ以外の指標については、肯定的な回答割合が74.6%から87.9%の範囲となりました。日々の様子や職員相互の報告等から、諸問題解決に向けての校内における情報共有、児童理解、トラブルが起こったときの対応や各ご家庭との連携等についての校内の状況は、概ね円滑で順調に推移しているととらえています。今後も引き続き、よりよい成長の支援や迅速適切な問題解決、個々の状況や背景を踏まえつつ児童に向き合うことに、真摯に取り組んでいく必要があると考えます。

学校評価集計：経年比較(全校)　「仲間とみがく」に関するもの

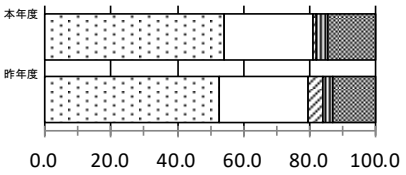
指標11	昨年度	本年度
はい	40.8	47.3
ややはい	36.0	29.7
ややいいえ	8.2	6.6
いいえ	4.9	5.1
わからない	10.1	11.3
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

11:お子様は、グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合い活動に進んで参加していると言っていますか。



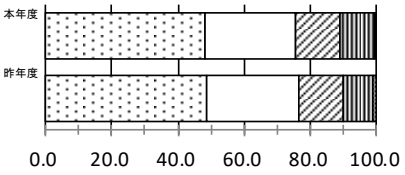
指標12	昨年度	本年度
はい	52.8	54.3
ややはい	26.6	26.6
ややいいえ	4.5	1.2
いいえ	3.0	3.5
わからない	13.1	14.5
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

12:お子様は、係や当番の活動、クラブ活動(4・5・6年生)、委員会活動(5・6年生)などに、積極的に参加していると言っていますか。



指標13	昨年度	本年度
はい	48.7	48.4
ややはい	27.7	27.0
ややいいえ	13.5	13.7
いいえ	9.0	10.2
わからない	1.1	0.8
無回答	0.0	0.0
計	100.0	100.0

13:お子様は、積極的に体を動かし、外遊びや運動をしていますか。



考察

「仲間とみがく」の項目に関するものでは、 各指標 における肯定的な回答割合(「はい」「ややはい」の回答割合の和)が75.4%から80.9%の範囲となりました。また、指標11(学級活動や異年齢たてわりグループ活動への積極的な参加)では、「はい」の回答割合が昨年度に比べわずかに上昇する結果となりました。これは、様々な集団における活動に、多くの児童が前向きな気持ちで取り組めていることの反映であると判断します。

各指標における「ややいいえ」「いいえ」の回答割合の和は、4.7%から23.9%の値を示しました。多様な集団で過ごすことや体を動かすことには、児童の成長発達にとっての大きな意義があります。しかしながらその一方で、こうしたことに対して苦手意識や困り感を抱き、積極的になることが難しい児童が一定の割合でいることにも配慮しつつ、よりよい教育活動の在り方を今後もさぐっていく必要があると考えます。

教育活動アンケートには、各評価指標に加え、学校運営全般に関する自由記述欄を設けました。回答者保護の観点から個々の記述の公表は控えますが、その内容を職員で共有し、よりよい学校づくりに役立てていることを、併せてご報告いたします。なお、何らかの対応を、全ての記述に対して行うのではないことを申し添えます。

最後になりましたが、教育活動アンケートご回答へのご協力に心より感謝申し上げます。今後とも本校教育活動推進へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年度　俵口小学校　学校評価

重点目標・具体的な取組				自己評価の指標	児童アンケート	保護者アンケート
生駒市		本校				
将来を見据えた主体的で楽しい学びの推進	①学習者自らが思考することを重視した教育の推進 ②地域に根差した学校づくりのための協働活動の多様な展開 ③英語教育、グローバル教育の推進 ⑧完成を磨き、想像力を育成する読書教育の推進	考えをみがく	①基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、指導法の工夫に取り組む。	1:分かりやすい授業づくりのために、教科横断的な視点を踏まえた指導の工夫を行っている。	1:授業に進んで参加し、学習した内容が分かる。	1:学校は、子どもたちや保護者の願いに応えた教育活動を行っていますか。
				2:分かりやすい授業づくりのために、根拠や実態を踏まえた指導の工夫を行っている。		2:学校は、たよりなどで教育活動を分かりやすく伝えていますか。
				3:分かりやすい授業づくりや基礎的・基本的な内容の定着、学習評価について学年等で話し合ったり、児童の様子や指導のノウハウの共有をしたりしている。		3:お子様は、学校で学習した事柄をおおむね理解できていますか。
				4:教育活動におけるICT活用やデジタルシティズンシップの育成に努めている。		
				5:外国語や異文化に関心をもち、これらに親しもうとする態度の育成に努めている。		
				6:発言の際のルールなど、学習規律の確立を意識している。	2:発表のしかたなどのルールを守って学習している。	
				7:地域の人材や環境を生かした教育活動を進め、児童の地域に対する愛着や、相手への感謝の気持ちの育成に努めている。	3:登下校のときや図書室に行ったときなど、地域の方に学校生活や学習を支えてもらっていることはうれしい。	4:学校は、登下校の見守りや図書ボランティアなど、地域の人材や環境を生かした教育活動を行っていますか。
				8:読書活動の充実を図り、読書習慣を育む取組を進めている。	4:進んで本を読んでいる。	5:お子様は、ご家庭で読書をしていますか。
				9:安心安全な教育環境の整備充実に努めている。	5:学校では安心して安全に学習することができる。	6:学校の環境は、お子様が安心して安全に学習活動に取り組めるよう保たれていますか。
			②他者と交流しながら、考えを深める力を着実に育てる。	10:児童が質問したり、互いに意見を交流し合ったり、学習の振り返りをしたりするなどして考えを深める場を設け、その充実に努めている。	6:学習や毎日の生活では、やり方や思ったことなどを自分で考えるようにしている。	7:お子様は、学習したことについて話したり、学習したことをもとに自分でやり方を考えたりしていますか。
			③筋道を立てて考え表現する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高める。	11:児童が学習問題を発見したり、その解決に向けて計画を立てたりする場を設け、その充実に努めている。		
				12:調べたり体験したりするなどの取組を通じて、児童の思考力や判断力の育成に努めている。		
				13:学習したこと、練習したこと、調べたこと、考えたことなどを、児童が他者に向けて表現したり発表したりする場を設け、その充実に努めている。		
多様性を認識・尊重し、行動できる態度の養成	④人権尊重の精神、規範意識や情報社会を生きる力の育成 ⑤自己肯定感や自己有用感の育成 ⑥いじめのない学校づくり推進と発達支持的生徒指導の重視 ⑦相談体制の充実と学びの場や居場所づくり	心をみがく	④人権尊重の精神を基盤に、児童に関する課題を共有するとともに、全職員でルールの徹底とマナーの育成に取り組む。	14:児童が楽しく主体的に学校生活を送れるよう、活動や場の充実に努めている。	7:学校で楽しく過ごしている。	8:お子様は、学校生活を楽しんでいますか。
				15:幼稚園・保育園・こども園との接続を意識した新入学時の指導の工夫や、中学校との連携を意識した卒業時の情報共有を行っている。		
				16:お互いが安心安全で気持ちよく過ごせるよう、ルールやマナーを守ることについての指導を継続的に行っている。	8:自分も友だちも気持ちよくすごせるよう、学校のきまりを守っている。	
				17:児童の日常生活と関連付けながら、道徳性や規範意識の向上に向けた取組を継続的に行っている。	9:してよいことや、してはいけないことを考えて過ごしている。	
				18:悩みや困ったことなどを、児童が相談しやすい雰囲気の醸成に努めている。	10:悩みや困ったことがあったときは、先生たちに話したり相談したりすることができる。	9:学校は、ご家庭と連携しながら、お子様の成長を支援したり、問題解決に向けて対応したりしていますか。
				19:児童に関する情報について、一部で抱え込むことなくその共有を迅速的確に行い、問題の早期発見、早期解決につなげている。		
				20:いじめや問題行動などに対し、迅速かつ組織的に対応している。		
				21:欠席や早退など問題があったときには保護者と適切に連携して対応している。		
			⑤自己の成長を振り返り、よさを認め、実感できる取組を充実させる。	22:児童が自他のよさや成長を発見したり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。	11:先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれる。	10:お子様は、先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれると言っていますか。
				23:児童の実態や教育的ニーズに合った支援を職員全体で共通理解し、支援を進めている。		
			⑥多様な交流・体験的学習を通して、互いを理解し認め合う大切さを学ばせる。	24:児童が一人一人の違いについて考えたり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。		
挑戦を続けるたくましい心身の育成	⑤自己肯定感や自己有用感の育成 ⑦相談体制の充実と学びの場や居場所づくり ⑩健康でたくましい体づくり	仲間とみがく	⑦話し合い活動を活性化し、自主的・自発的に問題を解決する力を伸ばす。	25:児童が互いの思いや考えを表現し合ったり伝え合ったりしやすい雰囲気の醸成に努めている。	12:グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合いや活動に進んで参加している。	11:お子様は、グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合い活動に進んで参加していると言っていますか。
				26:班や学級、同学年、異学年など様々な集団で、物事の進め方や問題解決の方法を話し合ったり、話し合ったことをもとに一緒に活動したりする場を設け、その充実に努めている。		
			⑧集団でのかかわりの場を通して社会性を育て、自己有用感を高める活動を工夫する。	27:班や学級、同学年、異学年など様々な集団での活動において、児童が自己有用感や達成感を得ることができるよう指導の工夫を行っている。	13:係や当番の活動、クラブ活動(4・5・6年生)、委員会活動(5・6年生)などを通して、みんなのためにがんばっている。	12:お子様は、係や当番の活動、クラブ活動(4・5・6年生)、委員会活動(5・6年生)などに、積極的に参加していると言っていますか。
			⑨「体つくり運動」の充実と、体力・運動能力向上の取組をすすめる。	28:児童が楽しく体を動かしたり運動したりすることができるよう指導の工夫を行っている。	14:体育の時間やふれあいタイム、休み時間などには、楽しく体を動かしている。	13:お子様は、積極的に体を動かし、外遊びや運動をしていますか。
				29:児童が、体育学習のみならず、たてわり活動や学級遊びなど様々な場面で体力・運動能力向上につながる活動に取り組めるよう指導の工夫を行っている。		

※　自己評価、児童アンケートは、いずれも「はい」「ややはい」「ややいいえ」「いいえ」の4件法で、保護者アンケートは、「はい」「ややはい」「ややいいえ」「いいえ」「わからない」の5件法でそれぞれ回答するものとする。

参考：学校関係者評価の結果について

俵口小学校では、地域の方や保護者の代表、学識経験者等を委員とし、学校運営協議会と、学校関係者評価委員会とを兼ねて年3回実施しています。第3回のこの会において、学校関係者評価としての学校運営状況等に関するご意見やご質問をいただきました。その概要を以下に掲載し、ご報告に代えさせていただきます(「・ ○○○…」は委員の方からのご意見やご質問、「→○○○…」は学校からのコメントです)。

職員による学校自己評価について

・ 授業づくりの話し合い等に関する指標で「ややいいえ」と回答した職員の困り感が気になる。職員相互のフォロー体制や先輩教員が後輩教員に教えるなどのことも大切だと思う。
・ 幼稚園としては、学校間連携に関わり、ふだんの学校園生活の中で、園児児童が自然に関わることのできている状況や、校長が折にふれ来園すること等に園児とともにうれしさを感じている。良好な関係性を今後も維持していきたい。

児童用教育活動アンケートについて

・ 不登校傾向を示す児童数の割合はどうか。
・ 不登校については、登校できていないからダメということではなく、例えばフリースクールの先生と保護者とのつながりなど、どこかにつながっていると、将来的に道が開けていくことが少なくない。職員が支援機関に関する情報を知っているなどの手立てを持っているとよい。
・ 昔とは違い「絶対学校に行かなければならない」という時代ではなくなってきている。つながっている場所があれば安心感も増すように思う。
  → 学年により状況は異なるが、本校は、不登校傾向を示す児童の割合が低いといえる状況にはないととらえている。教員が家庭訪問等を通じて学校とのつながりを維持したり、ほっとルームを活用したりしつつ、支援を続けているところである。ケースによっては、放課後登校やオンライン学習への参加など、一定の改善のみられる現状がある。
・ 職員による学校自己評価と、児童用教育活動アンケートでは、肯定的な回答割合に隔たりがあるように思う。教員の取組が、児童の回答により反映されるとよい。
・ 悩みや困りごとの相談に関する指標での、教員の見方は甘いのではないか。児童用教育活動アンケートにおける同様の指標との間に隔たりがあると思う。児童を細かく見取れていないのではないか。なぜこういう結果になったのかを考える必要があるのではないかと思う。
  → 数値の隔たりについてはご指摘のとおりととらえている。職員による学校自己評価における肯定的な回答割合が高いのは、一面では職員が自信と相互信頼をもって日々の業務にあたることができていることの反映であると考えている。一方で、児童を細かく見取れていないのではないかというご指摘については、きちんと受け止めて今後に生かしていきたい。児童の学校生活がよりよいものになるよう、教育活動内容の更なる向上に努めたいと考える。
・ 悩みや困りごとを先生に相談できるかという指標での、肯定的な回答割合は、問うていること

から考えて、決して低い値ではない。「先生に相談できる」という回答が多いのは、先生方が努力されている証拠である。

・　悩みや困りごとを相談するのは簡単なことではない。自分や自分の家族にも過去にそのような経験があった。本人が自分で言うのは難しいことだと思う。

・　読むことへの意識の向上に関する事柄として、先ほど学習参観をした際に、教室前のろうかで、様々なジャンルの本が置かれていることに気付いた。読書離れがいわれる中、よいはたらきかけが行われていると感じた。

保護者用教育活動アンケートについて

・　地域人材や環境を生かした教育活動推進についての指標では、肯定的な回答割合が減ってきているのはちょっと寂しい。登下校の見守りや放課後子ども教室など、我々がやっていることが伝わっていないのか。

・　「すぐーる」で様々な情報が入ってくるので、地域の方がせっかく取り組んでくださっている内容が、多くの情報に埋もれてしまって伝わっていない。また、やっていただいて当たり前になってしまっているところもある。ホームページの活用等で活動を伝える必要があるのではないか。

→　登下校の見守り等については、学校、地域、保護者のそれぞれが、日々できることを積み上げていくことに尽きるのではないかと思っている。日々の教育活動の発信については、即時性や CMS 環境の操作性などのことから、現在は主に「X」を用いてほぼ毎日の更新を行っていることをこの機会にお伝えしたい。